

2004年10月25日

**セイコーエプソン千歳事業所、高温ポリシリコンTFT液晶パネル新工場
最先端 300mm (12 インチ)ウェハーライン パイロットラン開始**

セイコーエプソン株式会社(社長:草間三郎)は、2004年7月22日に北海道千歳市の工業団地「千歳美々ワールド」に竣工した高温ポリシリコンTFT液晶パネル(以下HTPS:High Temperature Poly-Silicon TFT)製造のための新工場にて、予定通りこの10月よりパイロットランを開始いたしました。同工場は、エプソンとしては初めての300mm(12インチ)ウェハー石英ガラスを使用した最先端の3LCD液晶プロジェクター向けHTPS製造ラインとなります。

データプロジェクター市場は、ビジネス向けプレゼンテーション機会の増大、文教用市場での活用の増大に伴い、年々20%から30%の割合で順調に拡大を続けています。また、DVDプレーヤーの利用増加、デジタル放送の普及に伴い、高画質化の需要が高まってきているホーム用フロントプロジェクターおよび大型液晶プロジェクションTV等のコンシューマー市場も、北米を中心に確実に開花してきております。(別紙2参照)

この市場の旺盛な需要に応えるために、エプソンでは3LCD液晶プロジェクションシステムに用いられるHTPSの新製造ラインを設置するべく、先に竣工した千歳事業所の新工場に装置搬入等の準備を進め、予定通りこの10月より新製造ラインのパイロットランを開始いたしました。

新工場では、従来の諏訪南事業所とは異なり、エプソンとしては初めての300mm(12インチ)ウェハー石英ガラスによる最先端HTPS製造の新技术を導入し、リードタイムの飛躍的短縮、高品質確保のプロセス強化等を図り、お客様のご要望にスピードをもって対応できる体制を整えていく予定です。

また、「環境のエプソン」として、新工場の省エネルギーコンセプトとともに、新生産ラインにおいても省エネ機器の採用、様々な生産プロセス改革による産業廃棄物の低減等、環境配慮型の工程設計を実施しています。

本格量産は2005年4月より2000wf/月(12インチ)でスタートする予定ですが、柔軟に対応するとともに、以降市場動向にあわせ順次増強してまいります。

エプソンでは、独自の最先端液晶技術、高開口率化技術により、他社の追随を許さない輝度効率を実現し、明るく、色再現性に優れ、低パワーで環境にもやさしいHTPS製品を提供し、プロジェクター向けライトバルブ市場では、業界NO.1メーカーとして、約55%^(*)のシェアを有し、3LCDプロジェクターとともに常に市場をリードしてまいりました。

市場をリードする新製品開発はもとより、新工場の新生産ラインにおいては、市場ニーズに確実に応えていくための盤石な生産体制を確立するため、安全かつ迅速に量産立上げを推進してまいります。

なお、新工場の概要は別紙1をご覧ください。

以上

*1:液晶およびその他の方式含む。数値は、テクノシステム/ディスプレイサーチ/富士キメラ等の資料に基づく当社推定値(2003年度)

別紙 1

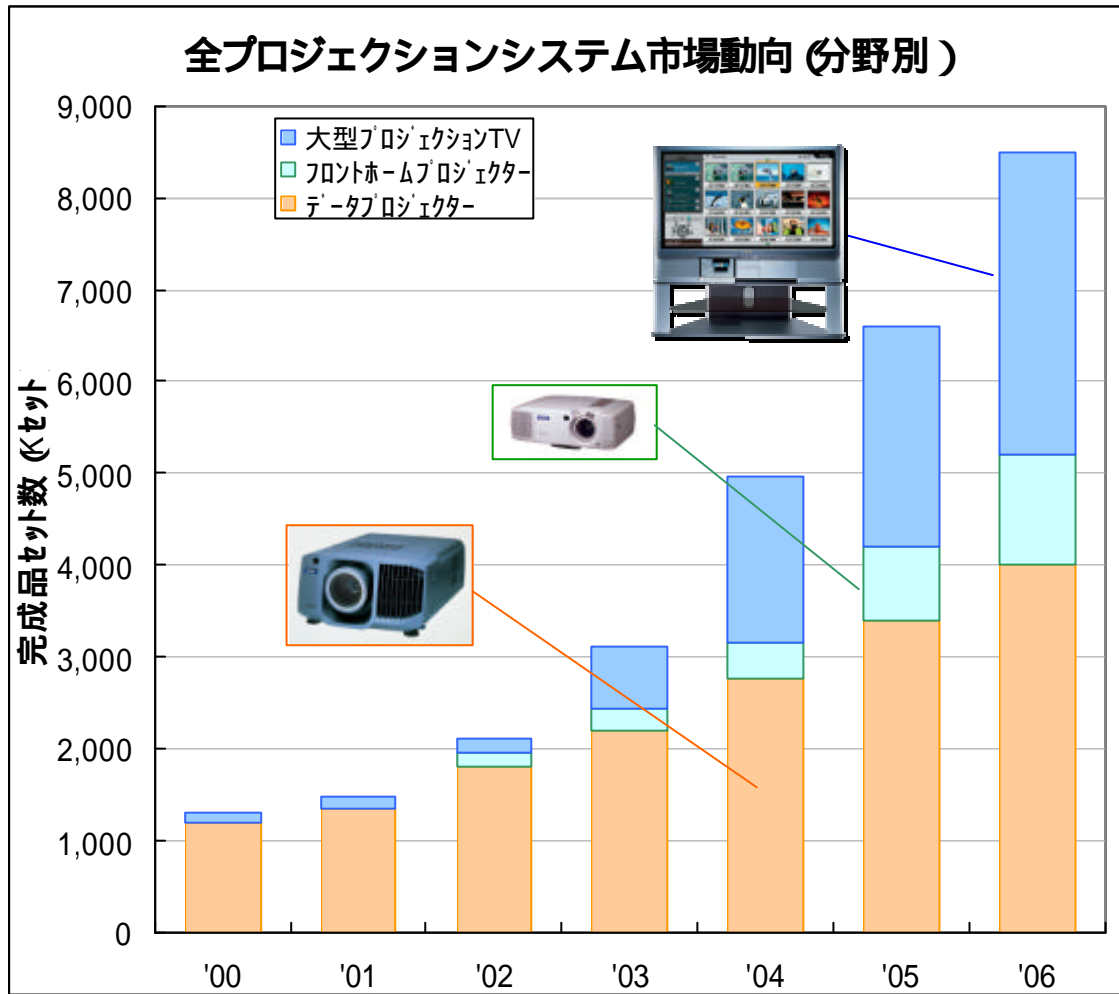
新工場の概要

- .名称 : セイコーエプソン株式会社千歳事業所
- .住所 : 北海道千歳市美々758 - 173
電話: 0123-22-5000 (代表) FAX: 0123-22-5001 (代表)
- .工事開始 : 2003年8月
- .クリンルーム竣工 : 2004年7月
- .工場稼動時期 : 2004年10月 (12インチウェハーによるパイロットラン開始)
- .生産品目 : 高温ポリシリコン TFT 液晶パネル
- .敷地面積 : 160,213.56 m²
- .工場棟概要 : 構造 鉄骨造
: 階数 地上7階 塔屋1階
: 建築面積 20,149.84 m²
: 延床面積 82,971.65 m²
- .生産能力 : 量産開始時 2,000w f/月 (12インチ)
- .生産体制 : 量産開始時 約200人規模
- .初期投資額 : 累積約350億円

この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

セイコーエプソン株式会社 広報部

電話 03-3340-2637(直) / 0266-58-1705(直)



TSR、完成品メーカーヒアリング等に基づく当社推定